

天童市立天童中部小学校 学校改革で「子ども主体の学校」に

『NHKスペシャル “学校”の未来』に登校30万人から考える』が1月27日、NHK総合で放送されました。

あることを自由に学んでいい時間があります。子どもが先生役になり、学びたいテーマを自分たちで自由に決める。

的な生き物。教育を受ける中で、どんな主体性を失って、受け身になっていく」という言葉が印象的です。

そこで紹介された山形県の天童中部小学校が注目です（写真）。

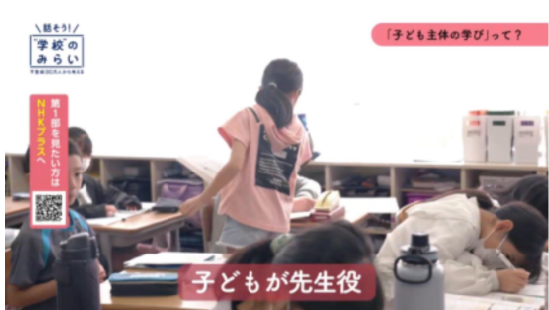
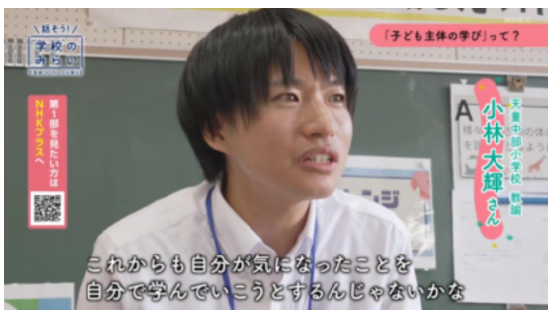
教師は、「子どもたちが自ら学ぼうとする姿に、手応えを感じている」と言います。

育局長が、「令和3年に、『個別最適な学び・協働的な学び』を打ち出した。個人の主体性を尊重するという考え方だ。しかし市町村に理解の差がある」と述べています。

一斉授業が全体の8割、子ども自身が学び方を選択する授業が2割あり、自分の興味の

「子どもたちは、生まれたときはみんな主体

育」に前のめりの鶴岡市はどうなのか？



ふるさと賛歌 22

鈴木重雄（八色木）

八色木薬師堂にある文化財①

相撲絵馬

明和3年（1766）に、「相撲絵馬」が奉納されている。

これは、友綱が小結から関脇に進んだ時の絵馬と思う。

絵は、朝草御蔵前、於八幡宮社内晴天八日勸進大角力興行つかまつるとあり、番付には

鰯綱（ともづな）良助とある。

友綱については、『民報』23年3月26日・1392号に書いた。

要約すると、享保19年（1734）に、八色木村の水野辰之助に生まれ、本名を

理助という。玉垣額之助に入門し、

『日本相撲史』の上巻で、彼の四股名しこなを初めて見るのは、江戸番付第1号の宝暦7年（1757）10月場所からである。

宝暦11年（1761）に小結となり、明和元年（1764）10月場所を最後に引退するまで、幕内在位24年間、このうち小結、関脇を11場所務めた。

一節には、大関の力を備えながら、体が小さいので、看板としての見栄に欠けたため、関脇で留まったとも伝えられている。

初代出羽海をはじめ、多くの弟子を育てた。天明7年（1787）、夏巡業地の越後で、53歳で没した。

初代出羽海をはじめ、多くの弟子を育てた。天明7年（1787）、夏巡業地の越後で、53歳で没した。



右下 小柄に見えるのが友綱

9年間で目指す子ども像を目標に、9年間一貫した教育課程を編成し、教職員の多忙化をつくり、子どもの主体性を尊重することができるのか？

小中一貫教育では、「子どもがネガティブな状態のまま推移」し、研究者から問題が指摘されています（『小中一貫教育の実証的検証』花伝社2021・3）。

「小中一貫教育」でパブコメ募集、市教委

鶴岡市教育委員会は、「鶴岡型小中一貫教育基本計画（案）」について、パブリック・コメントを、令和6年1月29日（月）～2月9日（金）まで行います。鶴岡市における「学校改革」の重大問題です。

いま、教育への期待は、未知の問題に立ち向かい、協働で解決し、主体的に考える力を育てる方向に向かっていきます。学力テスト型の学力ではなく、現実場面での問題解決に取り組む力を、一人ひとりの子どもが獲得できるように教育です（前頁）。市の計画案には、それが見えません。

共産党市議団の情報公開請求では、市教委はすでに、令和4年4月14日の市内部会議で、小中一貫校の設置などを想定していました（図）。藤島・羽黒・櫛引では施設一体型が、朝日・温海・豊浦では併設型が狙われていました。

これからの鶴岡市における「小中一貫・連携教育」について② 学校教育課

～ 児童生徒数減少を踏まえたこれからの小中学校教育の充実策 ～

基本的な考え方 2 3つの形態による小中一貫・連携教育を推進する

小中一貫・連携教育のメリット

- 一貫した方針による系統的な指導により、個性や能力を伸ばすことができる。
- 弾力的な教育課程の編成や小学校での教科担任制の導入など創意工夫した教育活動が可能。
- 異年齢の子どもたちの意図的な交流等により、豊かな人間性や社会性を育成できる。
- 「中1ギャップ」の解消、いじめや不登校の減少が期待できる。

小中一貫・連携教育の3つの形態

複線型一貫・連携教育	単線型一貫・連携教育	施設一体型一貫教育（義務教育学校）
近隣の複数の小学校と一つの中学校で、教員や児童生徒が移動しての活動を行う。 鶴一中：朝六小、大泉小、上郷小 鶴二中：朝三小、朝五小、京田小 鶴三中：朝一小、朝二小、斎小、黄金小 鶴五中：湯野浜小、大山小、西郷小 温海中：あつみ小、風ヶ関小⇒併設型一貫校へ	近隣の一つの小学校と一つの中学校で、教員や児童生徒が移動しての活動を行う。 鶴四中：朝四小（朝三小、大泉小） 豊浦中：豊浦小 ⇒併設型一貫校へ 朝日中：あさひ小⇒併設型一貫校へ（R12開校）	同じ校舎でともに学校生活を送り、活動する。 藤島中：藤島小、東栄小、渡前小 ⇒R11開校（モデル校） 羽黒中：羽黒小、広瀬小 櫛引中：櫛東小、櫛西小、櫛南小

情報公開請求で明らかになった「令和4年4月14日の市内部会議資料」から

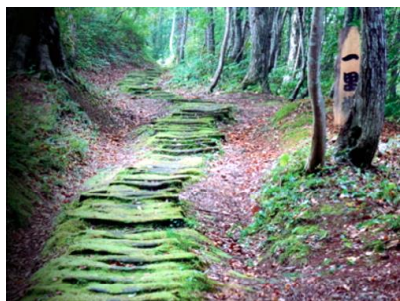
意見の提出方法：住所、氏名、電話番号を明記の上、1. 文書の持参 2. 郵送 3. ファクシミリ 4. 電子メールのいずれかの方法。※指定の様式は特になし。

提出先：鶴岡市 教育委員会 学校教育課

住所：〒997-0346 鶴岡市上山添字文栄100（櫛引庁舎内）

FAX：0235-57-4886

電子メール：gkyouiku@city.tsuruoka.yamagata.jp



1876（明治9）年、北陸巡幸随行人・侍従西四辻公業。佐々木高行は、巡幸要請に來た

東田川史跡物語 県民の対応―道路掃除

青山 崇

三島に連れられ道路状況視察のため、一行から離れ、新潟から山形に入った。佐々木は日記に記している。

現国道113号で「十三峠」（小国町黒沢峠の峠敷石…写真とも通称される。写真は、小国町の黒沢峠の綺麗な敷石である。

佐々木は人々の対応

に戸惑った。山道を人々が掃除中で、砂を所々に集め、高貴の人が通行の時、何か突然起った時のためだという。またある者が先導し道路払いなどしている。このように人々が奔走し苦労しては気の毒、その辺は制限してはと三島に苦言を呈したという。

それを聞いた佐々木は、実に古風で質朴の極みと絶賛したという。その後県内を巡っても、人々の対応はまるで巡幸の天皇を迎えるようであったという。またこの頃、女性旅行家・イザベラ・バードが東京を起点に日光から新潟県へ抜け、日本海側から北海道に至る北日本を旅した。

彼女の「東洋のアルカディア（理想郷）」の有名な言葉はこの頃のことである。



本気が見えない

俺も勿論そう思うが、これは巷で聞いた声だ。「死んでもまだアベは悪いー」ごじつたながや。そげだ者どご、国葬までして。今世の中を騒がせている自民党の裏金へのあの人の怒りは、ここから始まったのだった。

▲こんな声に対し出された自民党の中間報告とやらは、国民の声にまるつきり応えていない。実際裏金といわれる金額はナンボなんだや。アベ派は6億円超えだとか。悪い処には使っていないというなら、全部使い道を明らかにしろ。領収書を出したら選挙法違反になったり、脱税になるものもあったりしてか。▲加えて、刷新という名前なんだから、自民党の何処をどう刷新するんだい。金がカタキでありながら、企業・

団体献金を辞めるとはなっていないから、タカリの体質は変えねんだナ。それならば派閥解消と言っても、政策集団なんて称して又また金で繋がるだろうテ。だからどっかの新聞には、集団万引きした者にその対策をしろと言っているのと同じだ。とあつたとサ。まるつきり信用ネンダ。

▲しかし、検察も一緒になって変にしないでくれよ。アベ派の中枢はお咎め無しってか。そんなわけにはいくまい。事の起こりはそれからでしょ。併せて、3千万円以下は、起訴しないってカ。国民は怒るヨ。俺が線を引くとすれば百万円だぜ。しかもそれは、わざわざ2700万円のあの人がはづれる額としか思えない線だもの。▲派閥の解消での目くらましも、足並みが揃わないじゃ、首相の権威も？だナ。（石川）